

令和3年9月13日

登録番号 13 — 037

氏名 林 久 善

登録番号 19 — 001

氏名 石井 大輔

大阪市地域公共人材活動報告書

- 1 派遣日時 2021年9月4日（土）14:00～15:45
（第2回次）
- 2 派遣場所 グローバルユース防災サミット ZOOM ミーティング
- 3 参加人員 グローバルユース防災サミット3人/地域公共人材2名 計5名
- 4 活動内容
 - (1) ミーティングのテーマ
第2回「仲間になってもらいたい人／想定参加者にどんな言葉、方法で伝えるか広報を考える」
 - (2) 進行
 - ア 前回振り返り
 - ・ 防災に関心の高い方にサミットに参加してもらうよう具体的に働きかけることが有効。
 - ・ 目標参加者数 30 名
 - ・ ターゲットとなるグループなどをリストアップしておく。
 - イ 現状の参加者への働きかけ状況について聞き取り（前回からの宿題）
 - ・ 各委員から個別に働きかけており、目標の 30 名は達成できる見込み
（札幌市、町田市、河南町、講座修了生、明石南高校、西宮今津高校、滋賀県立大学）
 - ウ 当日（10/30）のタイムライン等の共有
 - ・ 来賓あいさつ等セレモニーに時間を割かないようにアドバイス
 - ・ ビデオレターを事前に依頼し休憩時間等を活用して伝える。
 - エ 今後について議論
 - ・ リアルなスタディツアーを増やしていきたい
 - ・ 事前学習プログラムを充実したい。大阪を知り、好きになり、まもるといったことを体現したい。
 - ・ すそ野を広げていくこと、イベントの価値の明確化、日常的な勉強会の実施、外国のユース層を1年に1か国は増やしたい、ファンドレイジングが課題。
 - エ まとめ
 - ・ 関係先への積極的な働きかけにより参加者数が確保できる見込みとなった。
 - ・ 当日のプログラムの確認及びアドバイスをを行った。
 - ・ 今後の展開やイベントの価値などメンバー間で深く議論できる場となった。

オ 次回の課題（9/19（日）10:00～12:00）

- ・参加者や資金を集めやすくすることについて議論する。
- ・イベントを開催することにより、実現したいこと、理想とする社会を考えてもらう。
- ・NPOの仕組みや資金について適切に理解を深める。

<所感>

メンバー間のイベントに関する趣旨、目的、方法などの事項を深く議論できる対話の場が、オンラインではあるができています。

一方、イベントの財源は公的な補助金などで賄われており、人件費は支弁できていない。また、事務機能が団体の方お一人が担っている。

今後、安定・継続して開催できるようにするために重要なファンドについて、メンバーで議論できるように人材で協力してファシリテートを進めたいと思います。

<所感>

グローバルユース防災サミットの参加者は順調に増え、30人という目標達成もめどが立っています。実行委員の行動力の賜物だと思います。今後はより中期的な視点に立ち、イベント開催そのものを目標・目的にするのではなく、そのさきにある社会への影響や成果、事業の継続性を意識して議論をファシリテート・コーディネートしていきたいと思っています。